

ごあいさつ

日々、日常医療に大きな役割を担われている皆様におかれましては、益々、ご健勝のこととお慶び申し上げます。2024年4月より、清仁会シミズ病院に、脳神経内科部長として着任させて頂きました大谷良(おおたに りょう)と申し上げます。

私は平成3年大阪医科大学(現在の大阪医科大学)を卒業、これまで、国立循環器病研究センターや京都医療センター(部長職)など急性期病院での勤務が主でした(略歴参照下さい)。京都大学大学院で医学博士を取得、米国国立衛生研究所(NIH, USA)での留学期間は、脳神経科学(Neuroscience)領域の研究に励んできました。

脳神経内科がカバーする領域は、脳卒中やてんかん、神経感染症、脱髄疾患など急性期疾患、アルツハイマー病・レビー小体病など認知症、パーキンソン病・脊髄小脳変性症・筋萎縮性側索硬化症(ALS)など神経変性疾患、末梢神経障害や筋疾患など多岐に渡ります。外来では、「頭痛」「めまい」「手足の脱力、痺れ」「言葉の問題」「身体が勝手に動くなどの不随意運動」「意識の問題」で受診されるケースが多いです。

当院が開設以降、脳神経外科を中心に、京都市西京区で、多大な地域医療貢献をされてきたことは敬意に値しますし、職員である事を誇りに感じます。脳神経外科と、脳神経内科は、それぞれの科の良さがさらに引き出せるように強い協力関係にあることが重要と考えております。当院での日々の臨床医療の充実は、必ず、地域住民の方々への安心感に繋がるものと信じております。また、病院には医師以外、看護師、薬剤師、リハビリの先生、検査技師、栄養士、医療事務職、秘書、清掃関係者など多くの職種の方々が患者さんやご家族、地域の為、懸命に真摯に働いておられます。様々な職種の方々が、しなやかに協力することは大切なことであり、協調、助け合いは、職場が明るくなり、地域医療への貢献につながります。

「脳神経の病気なら、シミズ病院を受診すれば、大丈夫!」と思っていただけるように、日々、臨床・診療に関わっておられる皆様と、お互いの関係性を深め、協調、協力をして、安心感が抱ける地域医療を築けるように謙虚に努力をしていきたいと考えております。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

脳神経内科部長

大谷 良

Ryo OHTANI, MD, PhD.



略歴

平成3年	大阪医科大学卒業	大阪医科大学付属病院 (研修医)
5年	国立循環器病研究センター	脳神経・脳血管内科
9年	京都大学医学部付属病院	神経内科
10年	Department of Neurology, University of Iowa Hospital	(留学)
10年	康生会武田病院	神経内科
12年	京都大学大学院医学研究科	(博士課程)
16年	国立病院機構京都医療センター	脳神経内科
18年	Stroke Branch, NINDS, NIH (米国国立衛生研究所)	(留学)
20年	国立病院機構京都医療センター	脳神経内科 医長
	京都大学大学院医学研究科臨床神経学	臨床准教授 (兼任)
28年	京都大学大学院医学研究科臨床神経学	臨床教授 (兼任)
30年	国立病院機構京都医療センター	脳神経内科 部長
令和5年	京都橘大学健康科学部	特別兼任教授 (兼任) 現在に至る
令和6年	清仁会シミズ病院	脳神経内科 部長 現在に至る

資格

医学博士(京都大学医学博士)
日本神経学会 神経内科専門医 指導医
日本脳卒中学会 脳卒中専門医 指導医 評議員
日本認知症学会 専門医 指導医
認知症サポート医
日本内科学会 内科認定医
日本臨床研修指導医
ボツリヌス療法実施資格医
京都橘大学健康科学部 特別兼任教授

